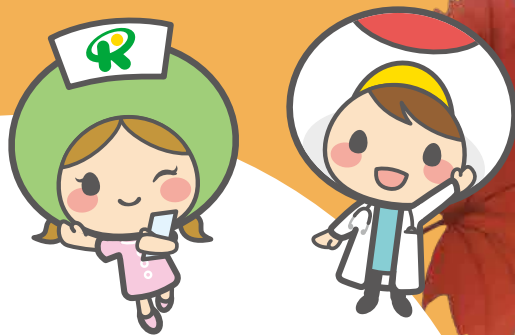


2019.10

vol. **54**
秋号

ろうさい かわら版



特集

◆「ウイルス性肝炎の撲滅にむけて」 ～肝炎治療の最前線～

消化器内科部長 **川岸 直樹** P2・3

◆ 連携登録医のご紹介

「おかだ歯科」院長 **岡田 実継** P4

◆ 専門・認定看護師紹介

がん看護専門看護師 **門脇 郁美** P5

◆ ろうさいインフォメーション P6・7

◆ イベント開催予定 P8

鉏路ろうさい病院の理念

最新の知識と技術に基づき、良質で
信頼される医療を実践します。

基本方針

1. 安全で質の高い医療を実践します。
2. 患者さんの権利を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を実践します。
3. 透明性の高い医療を実践します。
4. 地域住民と勤労者の健康づくりのために、予防医療を実践します。

臨床倫理方針

1. 患者さんの人権を守ります。
2. 患者さんの自己決定権を尊重します。
3. 生命倫理に関する法律及びガイドラインを遵守し診療を行います。
4. 患者さんの信条や生命の尊厳に関する問題については審議を行い、治療方針を決定します。
5. 患者さんのプライバシーを遵守し、個人情報の保護を徹底します。

ウイルス肝炎は、
制御・治癒可能な時代。



特集

「ウイルス性肝炎の撲滅にむけて」 ～肝炎治療の最前線～

釧路労災病院 消化器内科部長

かわぎし

なおき

川岸 直樹

～ウイルス性肝炎について～

ウイルス性肝炎とはウイルスが肝臓に感染することで炎症が起こる疾患です。B型肝炎、C型肝炎ウイルスが圧倒的に多く、持続感染者は、日本ではB型が110万人～140万人、C型が100万人～160万人存在すると推定されています。両疾患とも15～30%の方で長期間の年月を経て肝硬変や肝不全、肝がんなどの重篤な肝疾患に進行します。本邦において、肝がんの年間死亡数は3万人を超えており、その成因として、両ウイルスが原因とするものが約75%と大部分を占めております(図1)。

主に輸血や出産、刺青、性交渉、針刺し事故などにより感染しますが、感染時期が明確でないことや

自覚症状がないことが多いため、適切な時期に治療を受ける機会がなく、本人が気づかいうちに肝硬変や肝がんへ移行する感染者が多く存在することが問題となっています。

～治療～

肝炎治療はここ数年で大きく変化しました。

○B型肝炎は核酸アナログ製剤という、内服薬の登場により、ほぼ95%の方で血中のウイルスを陰性化することができます。また最近の薬は以前のような薬による骨や腎臓への悪影響をほぼ起こさないように改良されています。

○C型肝炎は一昔前まではインターフェロンが主な治療法でした。注射製剤であるため、病院の通院が頻回であること、副作用(発熱や関節痛などの感冒様症状、脱毛、倦怠感など)が強いなどの問題点があるにもかかわらず、治癒に至るのは5割程度でした。現在はインターフェロンに代わり、ウイルスに

直接作用する内服薬が登場し、99%の方でウイルス排除ができるようになりました。副作用もほぼなく、治療も数か月で終わります。当院でも昨年度までに200人近くの方が治療されております。

肝炎が進行すると肝硬変になります。肝硬変では肝臓に血流が行きづらくなり、胃や食道に血流が多く流れるようになります。胃食道静脈瘤と言われる、血管の瘤ができるようになり、瘤が破裂すると大量吐血などの原因となります。それらを未然に防ぐため、当院では肝硬変の方に胃カメラを勧めており、適宜内視鏡治療（内視鏡的静脈瘤結紮療法、内視鏡的静脈瘤硬化療法）やカテーテル治療を行っています。また肝がんになる可能性が高いため定期的に超音波検査を始めとし、CTやMRIなどの画像検査を施行しています。また、肝がん治療も積極的に行っております。ラジオ波焼灼療法、肝動脈化学塞栓療法、外科手術、分子標的治療薬など、個々の症例に応じて最適な治療を検討しています（図2）。治療や診断に難渋するような方、高度医療が必要な方、肝移植が必要な方に対しては北海道大学病院消化器内科、第一外科、移植外科に、相談や紹介をしており、釧路だから出来ない治療はないように務めさせていただいております。

～まず相談、検査を～

最初にお伝えしたようにウイルス肝炎は症状がないため、感染に気付いていない、もしくは感染に気付いていても病院を受診していない方（推定でB型肝炎では約70万人、C型肝炎では約50～90万人）が多くおります。検査は血液検査のみで簡単に行えます。また治療も副作用なくウイルス肝炎を制御、治癒可能な時代となっています。もし心当たりがある方や、以前指摘を受けているが未治療である方などは是非、相談、検査を受けていただけたらと思います。

また、ごく最近まで、C型肝炎治療において、透析の方や肝不全（非代償性肝硬変）の方は、治療が受けられませんでした。しかしながら、治療薬の開発

により安全に治療ができるようになってきております。合併症やその他の条件でC型肝炎治療が受けられなかった方は再度、かかりつけ医や当院に相談をお願いします。“C型肝炎治療はほぼ全ての方が受けられます。”

最後にはなりましたが、釧路地方のウイルス性肝炎を撲滅できるよう、鋭意務めさせていただきます。何卒よろしくお願いいたします。

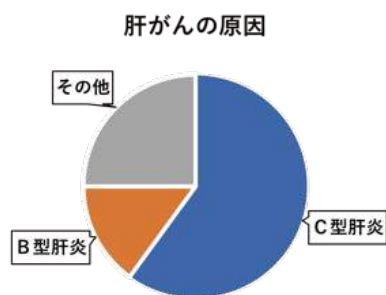


図1:肝がんの成因

日本肝臓学会 肝がん白書平成27年度より 筆者作図

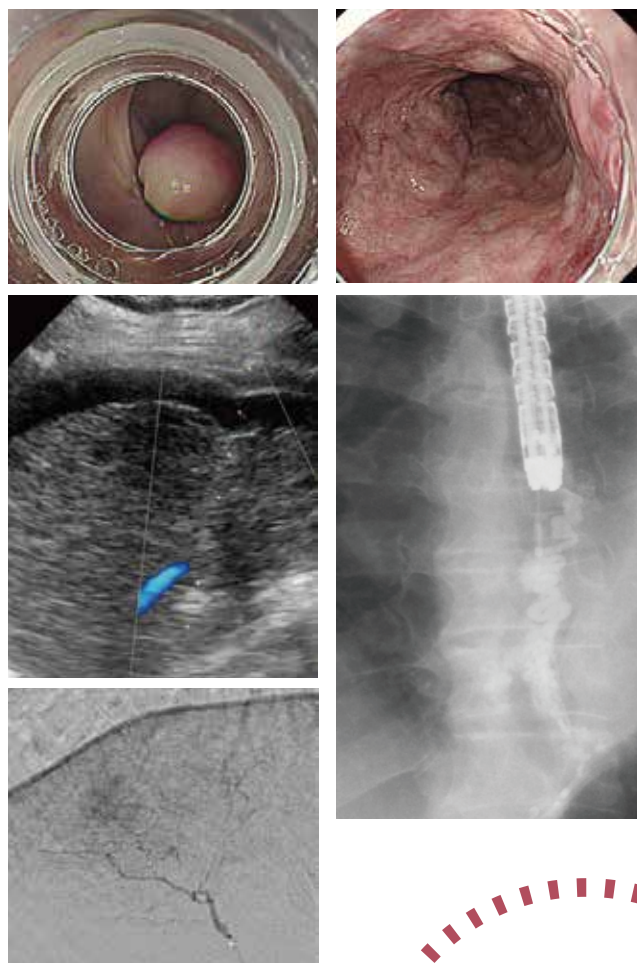


図2:食道静脈瘤と肝がんの治療



連携登録医の ご紹介



おかだ歯科

院長 岡田 実継

おかだ みつぐ

先生のモットーをお聞かせください。

「痛い」「怖い」「臭い」など、歯科に対するイメージはあまり良いものではありません。不安を抱えて受診される患者さん1人1人のニーズを的確に把握し、真摯に向き合いながらそれぞれに応じた適切な処置を行なうことを第一のモットーとしております。

貴院の特色やPR点をお教えてください。

疾病構造の変化や患者さんのニーズの多様化に伴い、単にむし歯や歯周病の治療・予防だけではなく、「飲み込み」の困難な方(摂食嚥下障害)や「食支援」においても対応しております。特に道東では数少ない「ポータブル嚥下内視鏡」や「舌圧測定器」などを有しており、患者さんや家族等にわかりやすく情報を提供しながら治療にあたっております。また「訪問歯科診療」にも注力しており、歯科治療はもとより、居宅・介護施設・病院において歯科衛生士が訪問し丁寧な「口腔ケア」を施行しております。今後も多職種と密に連携しながら地域に根差した歯科診療を行なって行きたいと考えております。

当院へのメッセージをお願いします。

当地域における「地域医療連携」において、非常に的確で頼りがいのある支援をして頂いております。歯科口腔外科には難症例や重度の全身疾患を有する患者さん等の対応を快くお引き受け頂いております。また歯科医療従事者に対しセミナーを開催する等、地域の歯科医療のスキルアップに尽力されております。また複数の疾患をお持ちの患者さんに安心安全な歯科治療を行なうために、内科、脳神経外科をはじめとした各科の先生には「メディネットたんちょう」等のツールを使用し情報共有をさせて頂いております。

患者さんへのメッセージをお願いします!

超高齢社会において、残念ながら歯科診療所に通院できない場合にも自宅や介護施設、病院等でも訪問歯科診療が受けられる場合があります。あきらめずにご相談頂ければ幸いです。なお、釧路歯科医師会には「釧路・根室圏域在宅歯科医療連携室」が設置されております。お気軽にご相談くださいませ。(TEL.0154-41-7979)

連携登録医

おかだ歯科

〒085-0041

北海道釧路市春日町6-14

フクハラ春日店内

TEL:0154-22-2202



診察時間 (受付時間)

9:30~18:00 [月・水・木]

9:30~18:30 [火・金]

9:30~13:00 [土]

休診日

日曜、祝日

*診療時間等については、事前にご確認ください。



かどわき いくみ
がん看護専門看護師 門脇 郁美

がん看護専門看護師とは？

がんについてどのようなイメージをお持ちですか？現在、日本人の2人に1人は何らかのがんにかかり、3人に1人はがんで亡くなるといわれています。まさに、がんは特別な病気ではなく、全ての人にとって、とても身近な病気なのです。

がん看護専門看護師は、がんを患う患者さんの心身の苦痛を理解し、患者さんご家族に対して生活の質（QOL）の視点に立った、水準の高い看護を提供しています。例えば、身体症状、心のつらさ、社会面（経済面、人間関係、仕事等）、治療や療養場の意思決定、家族への支援、などなど…、患者さんご家族が「その人らしくすごす（生きる）」ことができるように、他の医療従事者と協働し地域と連携しながら、様々な側面からの支援を提供させていただきます。

外来・入院問わず、がんや緩和ケアに関する様々なご相談に対応させていただきます。外来・病棟の看護師や地域医療連携総合センターの職員にお伝えいただけますとお話を伺いに参りますので、ぜひご活用ください。私の活動の実際をいくつかご紹介します。

【外来病棟における緩和ケアチーム対応】

緩和ケア（診断された時から病気の各段階における様々なつらさをやわらげる）の専門的な知識・技術をもつ医療チームの一員として、主治医や外来・病棟スタッフと協力して支援しています。



【緩和ケア外来対応】

症状緩和や療養上の支援が必要な患者さんご家族に対して、緩和ケア担当医とともに外来診療を行っています。



【がん相談支援センター対応】

様々な不安や悩み事など、がんに関する無料の相談窓口で、どなたでもご利用いただけます。必要に応じて専門部署へ対応をおつなぎいたします。

【がん院内型サロン「ひなたぼっこ」の運営】

対象はがん患者さんとその家族で、月1回開催しています。30分のワンポイント学習会の後に語りの場を提供しており、司会進行や参加者からの相談に応じています。



【地域におけるがんに関する啓発活動】

小中学校、地域住民、地域の医療者を対象に、がんや緩和ケアの知識を広める活動をしています。



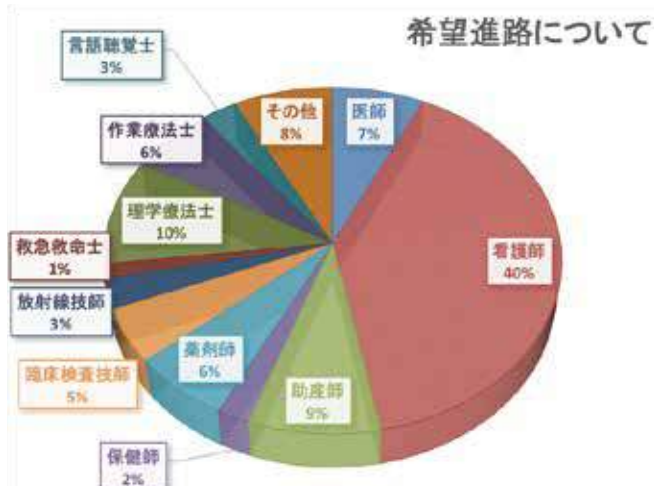
2019高校生のための医療福祉体験セミナー inくしろ・ねむろ地域を開催しました。



去る、7月21日(日) 当院にて体験セミナーを開催し、釧路・根室地域の高校生107名に参加いただきました。このセミナーは毎年開催され今年で8回目となります。職業として医療関係に興味のある高校生を対象とし、釧路根室地域の医療福祉を担う若き人材を創出することを目的としております。セミナーを通じて、医療の仕事に触れてもらい興味・関心を持ってもらうことで、医療というものや、進路、就職などを考えるきっかけとなることを期待しております。

セミナーでは講演のほか、医療現場を実際に体験してもらい、医療機器を用いた指導もあり、参加した高校生は緊張した面持ちで取り組んでおりました。

医療従事者とのディスカッションでは、本セミナーの感想や将来の進路について意見交換していただきました。普段接する機会の少ない医療従事者との意見交換はとても興味深いものだったようです。アンケート結果から、多くの参加者から有意義なセミナーであったとの声をいただきました。ご参加いただきありがとうございました。



土曜 脳ドックの ご案内



MRI装置更新のため、土曜脳ドックの実施を一時中断しておりましたが、更新が終了いたしましたので、10月実施分より再開しております。更新期間中は、皆さまに大変ご迷惑をおかけしましたことを改めましてお詫申し上げます。当院では毎月第3土曜日にMRIと血圧測定を行う「土曜脳ドック」を行っています。平日に検診を受けられない方も、週末のお休みの日を利用して受検していただけるのでおすすめです。検査所要時間もおおむね30分程度、料金は23,000円(税込)と通常の脳ドックよりも短時間、低料金となっています。疾病の早期発見、予防に努めるためにも、この機会に受診してみたいはいかがでしょうか。

実施概要

実施日	毎月第3土曜日
検診時間	8:30～12:00
実施人数	1日7名 ※検査所要時間約30分
検診項目	MRI、血圧測定
料金	23,500円(税込)
お問合せ	釧路労災病院 医事課 外来係
電話	(0154) 22-7191 (内線2107)
電話受付時間	8:15～17:00 (土・日・祝日、年末年始を除く)
URL	http://kushiroh.johas.go.jp

緩和ケア内科開設のご案内

令和元年8月より、緩和ケア内科を開設しました。医師、看護師、その他のメディカルスタッフが連携、細やかなケアを提供します。

診療内容

主にごがん患者さんのからだの痛みや気持ちのつらさ等に対して、主治医と協力して、薬物療法やケアなどに取組みます。緩和ケアというと、がん治療が終了した患者さんばかりが対象のように誤解されがちですが、今では症状があればいつでも（がん治療中でも、治療が始まる前でも）受診することができ、早めに受診することががん治療そのものにも役立つとされています。当院には日本緩和医療学会緩和医療専門医、がん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師等が常駐しており、最新の緩和医療・ケアを提供します。

主な病気

がん全般（その他、がん以外の患者さんの痛みについても、主治医からのご相談に応じています）

※がん患者さんの緩和ケアは、病気やがん治療に応じた内容となるよう主治医と緩和ケアスタッフがチームを組んで取り組むのが最善と考えています。診療ご希望の場合は、まず主治医や病院スタッフにご相談下さい。その上で患者さんそれぞれに応じた診療形式を提案させていただきます。



おだ こうじ
小田 浩之



役職／部長
診療科目／緩和医療
専門資格等／日本緩和医療学会、
緩和医療専門医
自己PR／緩和ケアはいつでも
（早い時期から）誰でも

（どんながんでも、また、がん患者さんでなくても）
受けることの出来る医療です。当院のみならず、
地域の医療機関の皆様のお役に立てるように
頑張ります。

治療就労両立支援部

「病気になっても働きたい」
そんな働く人の気持ちを応援します！

治療就労両立支援モデル事業

平成26年から労災病院全体で、勤労者医療の新たな取り組みとして始めており、当院はがん罹患者の治療就労両立支援モデル事業に参加しています。

「治療就労両立支援モデル事業」とは？

がん・糖尿病・脳卒中の罹患者及びメンタル不調者に対し休業等からの職場復帰や治療と就労の両立支援への取り組みを行い、事例を集積し、医療機関向けのマニュアルの作成・普及を行う事業のことです。

両立支援相談窓口（無料）

治療と就労の相談を希望される方は、両立支援窓口を設けておりますので、ご利用ください

場 所	地域医療総合センター（1階） ※相談専用の個室あり
時 間	午後1時～5時（月～金）
対象者	当院に関わらず、がん等で治療中の方やご家族、事業場の担当者の方
対応者	両立支援促進員（医療ソーシャルワーカー）
連絡先	0154-22-7191（代）

※「時間」「連絡先」：土・日・祝日・年末年始（12／29～1／3）を除く。



ピンクリボンキャンペーン *Pink Ribbon*

ピンクリボンキャンペーンは、地域の人々に乳がんの早期発見・早期治療の重要性を啓発、推進する取り組みとして、ピンクリボン啓発活動及びマンモグラフィサンデー（乳がん検診）を開催いたします。

ピンクリボン 啓発活動

日時 令和元年10月7日（月）10:00～11:00

会場 釧路労災病院 1階ロビー

手作りつまようじ、ティッシュの配付、自己検診法の説明など。

マンモグラフィ サンデー （乳がん検診）

日時 令和元年10月27日（日）8:30～12:00

対象 一般市民 30名要予約 ※放射線技師は女性が対応します。

お問い合わせ／釧路労災病院 医事課外来係 22-7191（内線2107）

今後のイベント開催予定

緩和ケア 市民公開講座

日時 令和元年11月9日（土）14:00～16:00

開場13:00

会場 釧路労災病院 3階講堂

講演

「緩和ケアとは」

釧路労災病院 副院長 小笠原 和宏

「緩和ケア活動の実際、ホスピタルアート」

釧路労災病院 緩和ケア内科部長 小田 浩之

その他／関連グッズの展示、
試供品の提供等

編集 後記

9月入り朝夕涼しくなり、秋の気配が感じられるようになりました。秋には旬を迎える食材も多く、より一層食べる楽しみが増えて、私の胃袋は秋を向かえる万全の態勢を整えております。「食欲の秋」「スポーツの秋」など秋には色々ありますが、皆さんの秋は？（編集長H）



独立行政法人労働者健康安全機構

釧路ろうさい病院

〒085-8533 釧路市中園町13番23号

TEL／0154-22-7191（代表） FAX／0154-25-7308

地域医療連携総合センター

TEL／0154-32-3464（直通）

<http://kushiroh.johas.go.jp/>

くしろろうさいびょういん

検索

